問い×ICT 実践事例 34 2021.10 実施

技術家庭科(技術分野) 2年

検索サイトの制作(演習)

(単元:双方向性のあるコンテンツ~オリジナル HP の作成」)

【活動の目標】

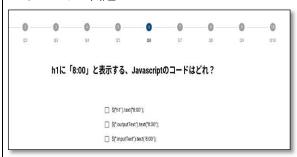
・ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツ(検索サイト)を、JavaScriptを用いてプログラミングすることができる。(知識・技能)

今回 ICT を活用した場面

レッスン毎に小テストを行った。(CBT)

今回行う双方向性のある検索サイトでは、今まで学習してきた「HTML」や「CSS」に加え、プログラムを書き換える「JavaScript」を学習した。内容が難しく、理解をしておかないとこの後取り組むオリジナル HP制作で困るので小テストを行い、知識の定着を図った。

<小テストの問題>



3つの選択肢から選ぶ形式10間×10点=100点満点



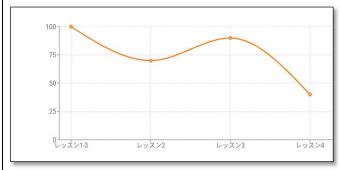
<生徒は自分で解答を確認し、送信>

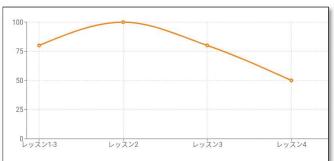
<先生画面で確認できる全員の点数グラフ>



分かりにくいが全員の名前と点数が一覧になっている。 画面にはないが、どの問題を間違えたかもわかるようになっ ている。

<レッスン毎に結果が分かる>





個人ごとに結果が分かるため、生徒の苦手やつまずきが分かりやすい。

【ICT 機器を活用する良さ】

- ・今回の内容は中学校で行うプログラミングの中でもかなり難しい内容である。しかし,双方向のあるコンテンツには必要不可欠な要素であるためしっかりと理解をしないといけない。単元テストでは確認する内容が多いので定着度の確認が難しい面がある。今回のように毎時間小テストを行うことで苦手な内容など細かく確認することができる。
- ・CBT のメリットとして、すぐに結果が分かり、生徒にも解答を返却および解説をすることができるためその都度間違った内容の復習ができる。それを積み重ねることで毎回の内容の定着を図ることができた。
- ・プログラミング学習ソフト (ライフイズテック社: ライフイズテックレッスン) 自体がブラウザベースのソフトのため端末を選ばないので家庭でも学習をすることができる。また, こちらの要望に対する対応も早く, より使いやすいようにアップデートが頻繁に行われる。

<生徒の解答用紙>



<解説用紙>





<教員の管理画面>

アップデート情報が頻繁に更新 管理画で生徒のテストの結果など確認 することができる。

評価の方法や基準も設けられており, 単元の評価に活かすことが容易

【改善すべき点と原因または改善の見通し】

- ・プログラミング学習ソフト (ライフイズテック社:ライフイズテックレッスン) であらかじめ準備されている内容なので問題の変更ができない。
- ・3 択の選択式なので、実際に理解ができていなくても正解することがあるので、定着度を測るのに妥当性があるか検証が必要。また、内容が実際に HP 作成を行うときに活用することができる力になっているかも検証する必要がある。